

E

東野便り

HIGASHINO DAYORI

学校法人
盈進学園 東野高等学校
総務部

東野高等学校 校長 平井 廣治

「まとめの学期」を迎えるにあたって —2025 年の初めに—

謹啓

新春の候、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。保護者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

私はこれまで東野高等学校の主幹教諭を務めてまいりましたが、この一月より新たに校長に就任いたしました。本校の揺るぎない「建学の精神」に基づき、一人ひとりの生徒を大切にしながら、地域や社会から信頼される学校を目指して全力を尽くしていく所存でございますので、何卒ご支援・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

さて、三学期が始まるにあたり、始業式では「建学の精神」と「三学期の位置づけ」について、以下のような話をいたしました。

2024 年から 2025 年に変わっても、東野高校の目指すべきもの、そして皆さんが目指すべきもの、大切にすべきものは変わりません。それを明確に表しているのが、「知識は第一の宝、品行は最高の美、忍耐は無上の力」という建学の精神です。

初めに、第一の宝とされる「知識」。ここでいう知識とは、様々な活動で得られる経験や技術も含まれますが、基本となるのは、やはり日々の授業や学習で積み重ねていくべき教養です。学習で得られる知識は、教科に関わらず先人たちが我々に残してくれたまさに宝物に他なりません。知識は第一の宝…それは「過去に学ぶ」ことで得られるものです。

次に、最高の美とされる「品行」。品行、つまり普段の言動にはその人の内面が表れます。いま何をすべきなのか、何を言うべきなのか。自分のことだけでなく、周りの人のことも気にかけることができる人の言動は、見ていて気持ち良さを感じるものです。品行は最高の美…それは「現在をしっかりと生きる」ことで体現できるものです。

最後に、無上の力となる「忍耐」。どれだけ一生懸命にやっていることでも、その努力の成果が表れてくるのには時間がかかります。また、努力をしていてもなかなかそれが評価されないこともあります。しかし、それでも努力を続けることで、人は大きな成長を遂げることができるものです。これから先、どのような状況でも諦めずに粘り強く努力を続ける、そんな忍耐は他の何にも勝る大きな力となります。忍耐は無上の力…それは「未来で飛躍する」ために備えるべき必要不可欠なものです。

知識は第一の宝、品行は最高の美、忍耐は無上の力。これを意識することは、「過去から存分に学び、現在をしっかりと生き、未来の飛躍のために備える」ことにつながります。だからこそ、在学中はもちろん、卒業後もこの言葉を胸にとめて、行動する際の指針にしてもらいたいと思います。

学校法人 東野高等学校
盈進学園〒358-8558 埼玉県入間市二本木 112-1
Phone 04-2934-5292(代表) Fax 04-2934-4665EISHIN GAKUEN HIGASHINO HIGH SCHOOL
SCHOOL FOUNDATION112-1 Nihongi, Iruma City, Saitama Prefecture 358-8558 JAPAN
Phone +81-4-2934-5292 Fax +81-4-2934-4665



東野便り

HIGASHINO DAYORI

学校法人
盈進学園 東野高等学校
総務部

もう一つ話したいことが、「三学期にやるべきこと」についてです。これに関して、私はもともと世界史の授業を受け持っていたので、それにちなんで話をしたいと思います。

世界には地域ごとに多くの神話が存在します。日本の神話、中国の神話、ギリシアの神話、エジプトの神話、古代アメリカの神話…それぞれの環境や文化にも影響されながら、そこに登場する神様もバラエティ豊かです。中でも非常に面白いのがインド神話です。

インド神話には、象の頭を持つガネーシャなど、多くの個性的な神々が登場するのですが、その中でも有名なのはシヴァという神様です。シヴァは様々なものを司る神として知られますが、最も象徴的なのは破壊の神としての側面です。

破壊とは、その名の通り、それまでの秩序や権威を圧倒的な力で打ち崩すことで、一つの時代の終わりをもたらします。しかし、シヴァはその一方で再生の神としても知られます。

再生とは、一度終わったところから、また新たな秩序や営み、新たな時代が生まれることを指します。つまり、シヴァは一つの時代の終わりと、新たな時代の始まりをもたらす神だというわけです。

なぜこんな話をするかと言えば、今日から始まる三学期は、まさに終わりの学期であり、また同時に新たなスタートに向けての歩みを始めるべき学期だからです。

一年生の皆さんにとっては、文系・理系に分かれるとともに、先輩としての役割も担う中堅学年になるための準備を始める学期。

二年生の皆さんにとっては、最高学年になるとともに、自らの進路を実現していくための準備を始める学期。

三年生にとっては、東野高校での生活をまとめ、それぞれが定めた新たな道を歩むための準備をするべき学期。

それぞれ違いはあれども、これまでの生活にひとつの区切りをつけるとともに、新たな生活に向けての準備をする時期という点は変わりません。

「備えあれば憂いなし」…来るべき春に向けて万全の備えをしていきましょう。

2025年は東野高等学校にとって、学園創立100周年・学校創立40周年を迎える節目の年です。本年が皆様にとりましても、幸多き年になりますことをご祈念いたします。

●今後の予定について

本校入試(入試準備日を含む)のため、1月21日(火)～1月24日(金)は自宅学習期間となります。

ご理解ご協力をいただけますようよろしくお願いいたします。

謹白